

おりもとだより

2023年
夏号
vol.49



豊中 織元®

新緑のまぶしい季節、気温の変化が大きくなり、衣は袷から単衣へ、その単衣もだんだんと風が通りやすい織になり、自然の空気を取り込んだ、着心地の良さを感じさせてくれます。

苧麻や綿、生絹に生紬、自然布など素材も織も変化に富んだこの季節ならではのきものや帯をぜひ豊中・織元でお楽しみください。着る人も見る人もその清々しい装いに心がはずみます。

決算中 とき 5月12日(金)~5月21日(日)
ところ 豊中 織元® 本店



●阪急豊中駅から織元本店へは徒歩4分

〒560-0021 豊中市本町4-1-8 TEL 06-6849-5298(代) FAX 06-6852-1021
<http://www.orimoto-t.co.jp>



柳に沢瀉などの水草を表した古典的な水辺の風景が夏の情景を想起させる縹の付け下げ紵の透け感がより涼しさを演出します



大胆な市松の伊那袖は復刻して織ってもらいました
茗荷と茄子が微笑ましい
湯本エリ子さんの染め帯



細かい十字縞の小千谷紬は蒸し暑さを忘れさせてくれる
シャリ感です
レモン色の帯で爽やかに



愛らしい水色と黄色の小花文様の夏紬
柔らかくモダンな配色の麻の名古屋帯ではんなりと



きちんと感のある
縹縮緬の小紋は
ミント色の帯で
爽やかさをプラス



透けない単衣の期間が年々長くなっています
光沢のある深いワイン色の紬に
アトリエ品川の染め帯



夏の改まった席に
水鳥が舞い飛ぶ
優雅な付け下げ
人間国宝・北村武資の
集大成ともいえる羅の帯

鬘斗目に唐花の
付け下げ
単衣にも素敵かと
結びやすさにこだわって
機屋さんにお願ひした
群青色の帯は
織元オリジナルです

きものと出逢いと

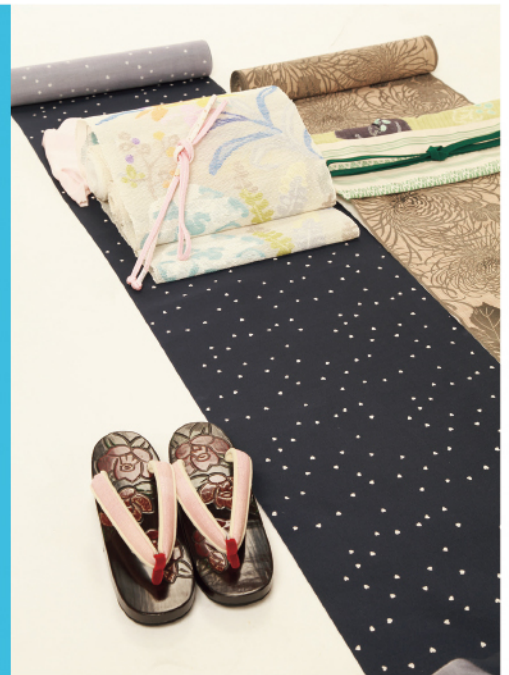


お客様から

夏のきものを探していたところ織元さんでこの着物に出会いました
落ち着いた水色の地色に濃紺の雲の模様がとても印象的でした
着てみるとふわっと軽くとても涼しく着心地満点です
今年の夏もこの着物を着て
お食事会などに出掛けようかと今から楽しみです



お太鼓結びで楽しむ大人浴衣



ゆかにまつり

川西阪急 1階 5月24日(水)～5月30日(火)
千里阪急 5階 6月7日(水)～6月13日(火)

織元着方教室

受講料 6,000円/4回

ところ 織元記念館

とき 毎週木曜日・土曜日

・10時～12時

・14時～16時

はじめての方も
習い直したい方も
ご自身のペースで

少人数で丁寧に質問にお答えします